

(別記)

## 令和3年度西神楽地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

西神楽地域は主に水稲作付を中心として良品質米の生産に取り組み、水張り面積維持のため加工用米・飼料用米の作付も行っています。転作については、小麦・そばを中心として、施設野菜の作付を推進していますが、高齢化、労働力不足により作付面積の減少が課題となっています。また、千代ヶ岡・就実地区においては畑作地帯として4年輪作を基本とした小麦・てん菜・馬鈴薯・豆類等の産地となっています。

地域においては農家戸数の減少にともない、担い手への集約が進んでいますが、担い手の確保と育成、省力化・省コスト化を推し進めながら農家所得の増加を図るため、生産性の向上が課題となっています。

### 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

高収益作物等の導入に向けては、水田農業高収益化推進計画の策定及び推進体制の構築を図ること

主食用米の需要が減少する中、今後、米価低迷における農業所得の低下が懸念される。このため、農業所得確保に向け、多品目野菜産地のメリットを生かしつつ、ロットの拡大による市場競争力強化のため「アスパラ・小ねぎ・ピーマン・ほうれん草」を重点作物として位置づけ、生産拡大を図る必要がある。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

「人・農地プラン」に基づき、農業者が話し合いにより地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化した上で、水稲水張りを組み入れない作付体系が数年以上定着し畑作物のみを生産し続けている水田がないか、また今後も水稲作付に活用される見込みがないか等をアンケートや話し合い、現地調査により確認して畑地化の可能性のあるほ場を洗い出し、これらのほ場について畑地化支援を活用した畑地化の具体的な道筋等について検証する。

### 4 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

食味向上対策として低タンパク米生産の推進と、需要に沿った作付、品種の選定を行っていく。また、肥料・農薬等栽培基準の遵守により安心・安全な米作りを実践する。

#### (2) 備蓄米

多収性専用品種等の調査・栽培試験による生産技術の確立を目指し、生産者所得の確保のため直播栽培等による低コスト生産を図り、主食用米からの転換を推進する。

#### (3) 非主食用米

ア 飼料用米

多収性専用品種等の調査・栽培試験による生産技術の確立を目指し、生産者所得の確保のため直播栽培等による低コスト生産を図り、主食用米からの転換を推進する。

イ 米粉用米

多収性専用品種等の調査・栽培試験による生産技術の確立を目指し、生産者所得の確保のため直播栽培等による低コスト生産を図り、主食用米減少分の対応方法の一つとして導入を検討する。

ウ 新市場開拓用米

主食用米の需要減が見込まれる中、安定した米の作付を実現すべく、水稻水張りを維持し主食用米の主産地としての地位を確保するため、JA等集荷業者を通じて、海外の米の新市場の開拓を図る。

エ WCS用稲

多収性専用品種等の調査・栽培試験による生産技術の確立を目指し、生産者所得の確保のため直播栽培等による低コスト生産を図り、主食用米減少分の対応方法の一つとして導入を検討する。

オ 加工用米

主食用米需要の減少に伴う分を米菓・味噌・焼酎用等低価格帯の需要増に対応し、水田面積の維持を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については転作作物の中心と位置づけ、秋まき小麦は「キタノカオリ」の地域単一作付による面積拡大と収量の向上、大豆も収量の向上が課題となっている。また、飼料作物についても畜産農家への安定供給、堆肥還元を進める。

(5) そば、なたね

そばについては、連作ほ場が多く品質・収量の低下が課題となっているが、他の作物より省力的に栽培できるため、高齢者や遊休農地の受け皿として積極的に作付を進めながら、収量向上を推進する。

(6) 高収益作物

少量多品目の産地特性を生かしつつも、アスパラガス・小ねぎ・ピーマン・ほうれん草の4品目を重点作物と位置づけ、高齢化・労働力不足から減少傾向にある作付面積の維持を図る。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	780.1	678.4	710.0
備蓄米	0	0	0
飼料用米	0	42.6	42.6
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	94.5	99.4	120.0
麦	168.1	175.0	200.0
大豆	35.0	38.0	40.0
飼料作物	90.0	90.0	90.0
・牧草	90.0	90.0	90.0
そば	178.9	160.0	160.0
なたね	0	0	
高収益作物	37.3	38.0	43.0
・野菜	35.0	35.0	40.0
・花き・花木	2.3	3.0	3.0
・果樹	0	0	0
・その他の高収益作物	0	0	0
その他	8.4	55.0	60.0
・地力増進作物	8.4	55.0	60.0
畑地化	0	0	0

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	小麦	小麦単収向上支援	作付面積 単収	(令和2年度) 168.3 ha 356kg/10a	(令和3年度) 175.0 ha 340kg/10a
2	そば	そば単収向上支援	作付面積 単収	(令和2年度) 178.9 ha 58kg/10a	(令和3年度) 160.0 ha 50kg/10a
3	大豆（黒大豆含 む）	大豆単収向上支援	作付面積 単収	(令和2年度) 38.1 ha 216kg/10a	(令和3年度) 38.0ha 180kg/10a
4	野菜・花き	高収益作物助成	作付面積	(令和2年度) 37.3 ha	(令和5年度) 40.0ha
5	アスパラガス・小 ねぎ・ピーマン・ ほうれん草	地域振興作物助成	作付面積	(令和2年度) 14.4 ha	(令和5年度) 15.0ha
6	地力増進作物	連作障害回避助成	取組助成	(令和2年度) 0.5ha	(令和5年度) 4.0ha
7	小豆・てん菜	小豆・てん菜単収向 上支援	作付面積 単収 作付面積 単収	(令和2年度) 5.0ha 144kg/10a 4.5ha 7,300kg/10a	(令和5年度) 6.5ha 260kg/10a 9.5ha 7,200kg/10a
8	そば	そば作付助成 (追加配分)	作付面積	(令和2年度) 178.9 ha	(令和5年度) 160.0ha
9	新市場開拓米	新市場開拓助成 (追加配分)	作付面積	(令和2年度) 0	(令和5年度) 0.5ha
10	地力増進作物	基盤整備対策助成	作付面積	(令和2年度) 7.9ha	(令和5年度) 90.0ha

## 7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり